



平成27年(2015年)12月期第2四半期 決算説明会 資料

平成27年(2015年)8月7日

KNT-CTホールディングス株式会社

近畿日本ツーリスト

仲間が広がる、旅が深まる

クラブツーリズム

目 次

経営統合 概要	P2
事業構造図	P3
KNT-CTホールディングス連結範囲	P4
平成27年(2015年)12月期第2四半期業績	P5
平成27年(2015年)12月期第2四半期セグメント別売上高	P6
平成27年(2015年)12月期第2四半期貸借対照表	P7
平成27年(2015年)12月期第2四半期キャッシュフローの状況	P8
平成27年(2015年)12月期通期業績予想	P9
営業シナジーの最大化	P10
訪日旅行事業について	P11
主要3事業会社の進捗と展望①、②、③	P12~14

経営統合 概要

平成25年(2013年)1月1日 持株会社体制
“KNT-CTホールディングス株式会社”に移行

当社は平成25年(2013年)1月1日、持株会社体制に移行し、グループ各社の「自立経営」と「連携強化」を促進するとともに

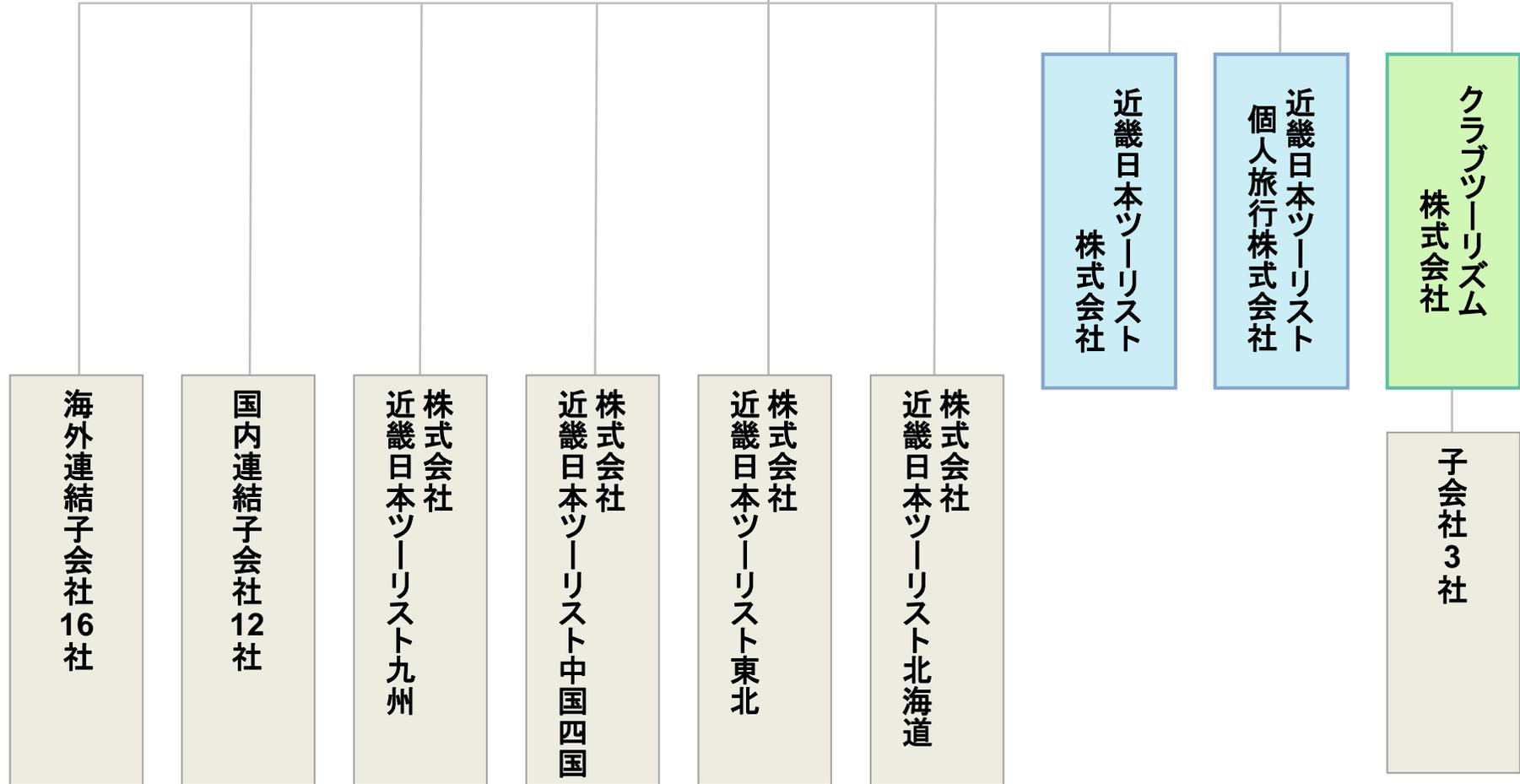
“近畿日本ツーリスト” “クラブツーリズム”

の長所を活かした「シナジー効果」の最大化を推進。



事業構造図

KNT-CTホールディングス株式会社



KNT-CTホールディングス連結範囲

【連結子会社 38社】

国内旅行会社(13社)	近畿日本ツーリスト、近畿日本ツーリスト個人旅行、クラブツーリズム、 近畿日本ツーリスト北海道、近畿日本ツーリスト東北、近畿日本ツーリスト神奈川、 近畿日本ツーリスト中国四国、近畿日本ツーリスト九州、近畿日本ツーリスト沖縄、 ユナイテッドツアーズ、ティー・ゲート、 昭和トラベラーズクラブ、三喜トラベルサービス	
海外旅行会社(14社)	KIE (USA)、KIE (Europe)、KIE (Oceania)、HTM、KNT KOREA、KNT台湾 他	
その他 関連事業会社(11社)	労働者派遣業務	ツーリストエキスパート
	商事・保険	近畿日本ツーリスト商事
	業務受託、他	ツーリストサービス北海道、KNTビジネスクリエイト クラブツーリズム・マーケティング
	アシスタント業務	ツーリストインターナショナルアシスタンスサービス
	イベント&コンベンション企画	イベントアンドコンベンションハウス
	介護事業	クラブツーリズム・ライフケアサービス
	再保険引受事業会社(2社)	H&M INSURANCE HAWAII、GRIFFIN INSURANCE
	宇宙旅行事業	クラブツーリズム・スペースツアーズ

【持分法適用関連会社 2社】

国内	NTTデータ・テラノス
海外	KNT TRAVEL (THAILAND)



ホールディングス
本社ビル全景

平成27年(2015年)12月期第2四半期 業績

単位:百万円

	当第2四半期 連結累計期間	前第2四半期 連結累計期間	増減額	増減率 (%)
売上高	192,936	202,276	△9,339	△4.6
売上総利益	34,974	34,643	331	0.9
営業利益又は 営業損失(△)	181	△1,130	1,312	-
経常利益又は 経常損失(△)	357	△984	1,342	-
特別利益	28	112	△84	△75.1
特別損失	17	111	△93	△84.0
四半期純損失(△)	△251	△1,257	1,006	-

平成27年(2015年)12月期第2四半期 セグメント別売上高

単位:百万円

	個人旅行事業		団体旅行事業		その他		調整額	四半期連結 財務諸表 計上額	
	実績	前年比 増減	実績	前年比 増減	実績	前年比 増減	実績	実績	前年比 増減
外部顧客 への 売上高	111,116	△6,187	47,413	△3,142	34,321	△29	85	192,936	△9,339
セグメント 間の内部 売上高又 は振替高	41	△3	729	52	4,863	△678	△5,633	—	—
売上高計	111,158	△6,191	48,142	△3,090	39,184	△708	△5,548	192,936	△9,339
セグメント 利益又は 損失(△)	△128	1,358	233	△399	△168	27	244	181	1,312

平成27年(2015年)12月期第2四半期 貸借対照表

単位:百万円

	当第2四半期 連結会計期間 (平成27年6月30日)	前連結会計年度 (平成26年12月31日)	増減額
流動資産	113,845	103,182	10,662
うち現金及び 預金、預け金	66,079	60,277	5,801
固定資産	19,543	20,862	△1,318
資産合計	133,388	124,045	9,343
流動負債	104,681	94,139	10,541
うち営業未払金・ 未精算旅行券	43,715	41,003	2,711
固定負債	5,447	6,201	△753
負債合計	110,128	100,340	9,787
純資産合計	23,260	23,704	△444
うち利益剰余金	4,898	5,149	△251
負債および 純資産合計	133,388	124,045	9,343

	当第2四半期 連結会計期間 (平成27年 6月30日)	前連結会計年度 (平成26年 12月31日)
自己資本 比率	17.4%	19.1%
一株当たり 純資産	85.63円	87.57円

平成27年(2015年)12月期第2四半期 キャッシュ・フローの状況

単位:百万円

	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至 平成27年6月30日)	前 第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至 平成26年6月30日)
営業活動による キャッシュ・フロー	5,292	2,699
投資活動による キャッシュ・フロー	1,050	△851
財務活動による キャッシュ・フロー	24	28
現金及び現金同等物 の四半期末残高	64,140	56,660

平成27年(2015年)12月期〔通期業績予想〕

					平成27年(2015年)度 〔通期予想〕
売		上		高	4,360億円
営		業		益	48億円
経		常		益	50億円
当		期		純 利 益	30億円
1	株	当	た	り	11円09銭
当	期	純	利	益	

営業シナジーの最大化

KNT-CTホールディングス株式会社

平成25年(2013年)1月1日の経営統合から3年目を迎えた。この間「近畿日本ツーリスト」という強力なブランドと広範なネットワークを持つ強みと「クラブツーリズム」が持つ優れたマーケティング力や商品企画力を掛け合わせて「統合シナジー」を生み出すべく、両社の協力に基づく販売活動を展開した。

売上高 約19.3億円、売上総利益 約4.4億円の実績(2015.1-6月計)

■海外旅行における営業シナジー例

- アンコールワット非公開エリアの特別公開を盛り込んだ企画と販売を展開(2月)
- 世界6大メジャーマラソン大会(4月、ボストンマラソンとロンドンマラソン)への参加

■国内旅行における営業シナジー例

- KNT-CTオリジナルイベント「ふくしまミュージック花火2015」(5月)約10,000名の誘客
- 「2015善光寺御開帳ツアー」取扱い 3,300名超の誘客
- 「冬の北海道・あったかカーニバル2015」(2月)での「KNT-CTの日」設定によるオリジナルイベント実施 1,500名超の取扱い
- 「第8回・今帰仁グスク桜祭り」(1月～2月) 2,000名超の取扱い



■提携販売、WEB販売でのシナジー例

- CT商品のKNTグループによる提携販売、KNTホームページからCTへの誘導後のCT商品購入、CTホームページからのKNT宿泊商品購入等で、約25,000名の取扱いと約13億円の売上高

訪日旅行事業について

KNT-CTホールディングス株式会社 訪日旅行部・訪日FITセンター

個人旅行事業のプロモーション強化

- ・注目度の高い「YOKOSO Japan Tour」を主軸に展開
- ・旅館・ホテル 販売の伸長
- ・海外トラベルフェアへの積極的な出展（10ヶ国20フェアに参加予定）
- ・大手OTAへの商品供給開始、促進

MICEを中核とした団体旅行事業の推進



今後日本での開催増が期待される国際会議

- ・スポーツイベント、国際会議など高収益市場に注力
- ・東南アジア各国キーエージェントとの契約推進など

■ YOKOSO Japan Tour

日帰りバスツアーを中心に日本最大級の年間500本以上のコースを用意



YOKOSO Japan Tour サイト トップページ



旅館の魅力をPR

主要3事業会社の進捗と展望①

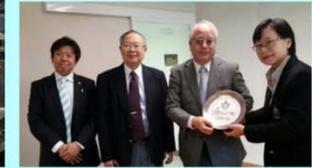
■ 団体旅行事業 <近畿日本ツーリスト株式会社>

■ 「スポーツ事業」の強化

- ・第31回オリンピック競技大会(リオ五輪)日本代表選手団派遣取扱い決定 および
リオ五輪・観戦ツアー指定旅行会社(チケットを含む)としてリオ五輪への取り組み
- ・タイ・オリンピック委員会公式チケット代理店に決定
- ・2020年東京オリンピック・パラリンピックへの取り組み



リオ五輪会場(予定)



タイ国スポーツ庁にて

■ 「地域誘客事業」への積極的参入

- ・国策である「まち・ひと・しごと創生(地方創生)」を活用した中央省庁・自治体事業への協力
(例)ふるさと旅行券事業の受注(茨城県「プレミアム付き宿泊券・周遊券」など)
- ・日本遺産を活用した観光振興への取り組み



地域誘客事業 商談会の様子

■ 「インバウンド事業」の拡大

- ・40カ国MICE専門事業会社のアライアンス「Euromic」への加盟によるインバウンドMICE事業強化
- ・コンベンション業界団体との連携による国際会議の販売拡大

■ 「伊勢志摩サミット」への取り組み

- ・第42回先進国首脳会議(伊勢志摩サミット)需要獲得を目的とした近鉄グループとの連携 および
関係閣僚会合(10都市)の需要獲得に向けた取り組み



産後レスパイト事業(イメージ)



スマートツーリズム事業

(イメージ)

■ 「コア事業」の安定化

- ・マスト市場攻略による競争力強化
- ・収益率改善による生産性向上

■ 「未来戦略」への挑戦

- ・新規事業開発(スマートツーリズム事業、産後レスパイト事業など)による企業価値創造
- ・マーケティング機能の改善や外部アドバイザーとの連携による企業価値向上

主要3事業会社の進捗と展望②

■個人旅行事業 <近畿日本ツーリスト個人旅行株式会社>

■商品改革

【高付加価値商品の展開】

- ・「メイト セレクト」「ホリデイ プレミアム」など高付加価値商品の販売強化
「旅行需要の創造」のため担当者がお薦めする提案型商品の拡大
- ・従来からある素材提供型商品と提案型商品の比率を7:3とする。

■店舗改革

【店舗における情報優位性の確保】

①機能別店舗展開の推進

- ・専門店化推進(方面スペシャリストを増やし顧客対応力の向上へ)
- ・CTコラボ店(カフェ併設や各種講座、イベント開催で地域密着型営業)

②来店予約制の導入

- ・スムーズな接客と事前準備による情報優位性の確保

③「旅のコンシェルジュ」(テレビ電話システム)

- ・26店舗に導入

■Web強化

【「e宿(いーやど)」事業の拡大】

- ・契約施設数10,000軒へ(現在7,500軒)
- ・オンラインカード決済システムの導入(10月)により取消率を削減
- ・「e宿グループ旅」による小グループの取り込み拡大(11月)
- ・地方創生「ふるさと旅行券」事業の受託

(青森県・静岡県・新潟県・福井県・滋賀県・佐賀県・奈良県橿原市など)夏の販促イメージ



メイトセレクト北海道



旅のコンシェルジュイメージ



© 円谷プロ

e宿(いーやど)



主要3事業会社の展望③

■個人旅行事業

＜クラブツーリズム株式会社＞

■ 旅行業の成長

将来の成長分野の育成に、経営資源を投入

①テーマ旅行の拡大

- 歴史探訪、写真撮影、登山、ハイキングなど、業界トップの地位を不動のものに。

- インバウンドツアーでも取扱うことで、5年後には倍増(売上高300億円)

②ユニバーサルデザイン旅行センターの設立

- 「杖・車いすで楽しむ旅」で、誰にでもやさしい旅を提供
～東京パラリンピックに向けて、市場は拡大
- 「長い距離を歩かない旅」で、後期高齢者市場を開拓

■ 新規事業への挑戦

旅行業で培った信頼(ブランド)を活かし、シナジーを発揮できる分野への挑戦

①会員制・軽装備フィットネス

(7/1)「ライフスタイルクラブ テラス」(第1号店)を、東京都東久留米市にオープン

②生活サポート(家事代行)サービス

(6/1) 東京23区で営業開始

- 家事代行
- 病院付き添い、話し相手等
- 家具移動等、日常生活の困り事

③物品の通信販売

(7/10)物品通販サイトを、リニューアルオープン



テーマ旅行の拡大
富士山すそ野ぐるり一周ウォーク
ゴール(完歩)シーン



ユニバーサルデザイン旅行センターの設立
「杖・車いすで楽しむ旅」ハワイツアー



クラブツーリズム専用・
リフト付大型バス



「ライフスタイルクラブ テラス」スタジオ



「ライフスタイルクラブテラス」
ラウンジ



IRに関するお問い合わせ先

KNT-CT ホールディングス株式会社

〒101-8641
東京都千代田区東神田1-7-8
ユニゾ東神田一丁目ビル

総務広報部 広報

TEL:03-6891-6839 FAX:03-6891-6890

URL: <http://www.kntcthd.co.jp/>

本資料は投資勧誘を目的とした資料ではありません。あくまでも参考資料であり、正確な決算数値は決算短信・有価証券報告書等をご参照ください。本資料で記載しております経営目標は、様々な要因の変化により予想と乖離することもありますので、ご承知いただきますようお願いいたします。